

1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月六回5の日・0の日発行)

SSK 無何有郷通信 2021年7月16日発行 SSK増刊通巻第5587号



LETTERS FROM NOWHER

SSK

むかうのさとつうしん
社会福祉法人上州水土舎
LETTERS FROM NOWHERE
知的障害者授産施設水土舎
2021年7月16日

無何有郷通信

通巻30号



縄文焼



4番 Sachiko、サードゴロで三
塁に走り守備妨害でアウト。



水土舎合唱団発表会



赤城山のキャンプファイア



台湾三重市の施設訪問

お中元特集号(求人情報)

- ◇社会福祉法人上州水土舎の歩み～自主事業と自立生活支援の取組み～『サポート』6月号から
- ◇新刊紹介:『私たちが命を守るためにしたこと』、◇『2035年ガソリン車消滅』





水土舎のブルーベリー



水土舎のジャム三種



水土舎の平飼有精卵

赤城屋

Akagi-ya Wurst Ham

Der Metzgerei aus München nach Akagiya
Weiße Rose/Rote Burg

富岡市後賀723-7

Phone 0274-64-1254 / E-mail akagi-ya@xp.wind.jp

**黒毛和牛本来のやわらかさと芳醇な風味を
塩釜に閉じ込めた逸品です。**

**塩釜焼き
ローストビーフ**

赤城屋

赤城屋 黒毛和牛	塩釜焼モモ肉ローストビーフ	210g、450g
赤城屋 上州牛	塩釜焼モモ肉ローストビーフ	200g、300g、400g

群馬県産
上州黒毛和牛サーロイン・ローストビーフ
口の中であとろける旨味と芳醇な味わいをご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 サーロインローストビーフ 200g、300g、400g

群馬県産
黒毛和牛モモ肉ローストビーフ
やわらかな肉質と肉に閉じ込められた旨味をご堪能下さい。

赤城屋 黒毛和牛 モモ肉 200g、300g、400g

群馬県産 **上州牛モモ肉の大きなハンバーグ**
上州牛のジューシーな旨味と濃厚な味わい深さが凝集されています。

赤城屋

赤城屋 上州牛モモ肉100%と玉ねぎだけで作りました 160g×6個、160g×4個

群馬県産
上州牛モモ肉ローストビーフ
人気のローストビーフです。
ジューシーな旨味をご賞味下さい。

赤城屋

赤城屋 上州牛 モモ肉 200g、300g、400g



社会福祉法人上州水土舎の 歩み〜自主事業と自立生活 支援の取組み〜 金谷透

(日本知的障害者福祉協会機関誌『サポート』2021年6月号から引用)



はじめに
社会福祉法人上州水土舎は、群馬県の富岡市で水土舎(就労継続支援B型・就労移行)と富岡甘楽自立生活サポートセンター・ムゲン(生活



水土舎(富岡)



Kiyoの鐘

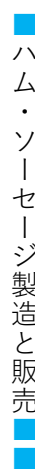
介護)を、前橋市ではよろず屋寒春(就労継続支援B型・就労移行)を運営し、また前橋市に1か所、富岡市に9か所のグループホームを運営しています。

法人本部は富岡市内東端の静かな谷間に広がる里山にあり、沢筋奥の溜め池では、アオサギが餌をついばみ、田んぼにはカブトエビが群れ、関東タンポポが群生しています。

水土舎は地域社会の中に障がい者の居場所と社会参加の場を創出し、そこで彼らを自然に包摂する仕組みや人間の輪や共生社会の実現をお手

伝いし、彼らの自立生活の地平には施設解体も視野に入れていきます。

水土舎の約束事はたった一つ、**周囲の皆さんになるべく迷惑をかけない**、です。これには、少しくらいはごめんなさい、という甘えや居直りはいささかも含意されておりません。



■ハム・ソーセージ製造と販売■
水土舎では小さな施設内工場で様々な食肉加工を行っています。特に塩釜焼ローストビーフは全工程が手作業で塩や香辛料の加減が職人の勘頼りになることから、多くの企業が敬遠するため恐らく国内屈指の生産高だと思えます。

加工技術は、本場の味を学ぶため、私の知人がドイツ・ミュンヘンの工場で2年間修業し、帰国時にマイスター養成校の教師を同伴しました。彼と共に3か月間にわたって日本人向けに風味を調整し、1989年に製造販売を開始しました。

ミュンヘンの食肉加工専門商社から香辛料や資材や機器等を直接仕

入れ、「本場の味」を特徴に販路を広げ、そごう・西武、高島屋、大丸松坂屋、セブンイレブン、リンベル(カタログギフト)、(株)ワイヨット、日本生協(CO・OP)等々、大手百貨店・企業を主な顧客として販売してきました。

売り上げも順調に伸ばしてきましたが、昨年4月大きな危機に見舞



塩釜焼ローストビーフ製造風景

われることとなりました。食品表示法の改正です。従来の商品ラベルには、福祉事業所の名前ではなく、「販売者・(株)赤城屋」のブランド名を明記して販売していましたが、新たに設けられた製造者欄に「社会福祉法人上州水士舎」と明記しなければならなくなりました。

果たして知的障がい者の作る商品は、これまで通り市場で取り引きされるだろうか、私たちが長年続けてきた大手企業との通販事業はここで終わってしまうのではないかと不安に駆られました。腹をくくり、顧客の反応を待つことにしました。

■企業との取り引き■

当法人が行う自主事業の根底には、社会に対し甘えたりおもねることとはせず、偏見無く正当な評価をしてもらうことが望ましい、という考えがあります。

曰く、『授産商品の購入は喜捨やお賽銭に似ており価格に見合った価値はない。お賽銭の対価としての商

品は「安かろう、悪かろう」というのが一般的な相場場で、購入者は社会的弱者や生活困窮者に善行を施したと思うことでかりそめの優越感や自己満足を得、それらが商品価値の不足感を補う。』

ここには社会に内在する格差や偏見や差別等いわば無意識のバイアスが定着するカラクリが隠されています。『出来損ないの商品』を購入するのは富者の一種の施しや罪滅ぼしの感覚に近く、強者と勝ち組の奢りの産物に他なりません。

授産製品の最大の、そして往々にして唯一の販促材料は障がいであり障がい者だ、誰も黙して語りませんが、多くの関係者が心の中のこのわだかまりを持って余しています。故ステラ・ヤング氏が『感動ポルノ』^{※1}と表現した現象に通底しています。

【※1 故ステラ・ジェーン・ヤングは、2014年の講演で「I'm not your inspiration, thank you very much」(私はあなた方の感動の対象ではありません。どうぞよろしく。)と発言し、世間の障がい



者に対する接し方を「Inspiration porn」(感動ポルノ)と形容した。『障害は悪い。そんな可哀そうな障がい者が負けずに取り組む姿は感動する。』という構図は、結局は、健常者の自己満足あるいは利己的な欲求のために、障がい者を利用しているに過ぎないという謂いである。】

私たちは『授産製品悪かろう、安かろう』という固定観念や巷説にくみせず、販売会社(株)赤城屋の下請けという形をとることで、福祉や障害という文言とイメージを商品から一掃してきました。

しかも、これは群馬県障害政策課の要請でもありました。大手企業と

の取り引きにはワンクッションを置いたほうがよい、問題が起きれば一社会福祉法人では抗し切れないだろう、その際は(株)赤城屋に任せろ、という「親心」だったようです。

ところが、大手企業との取り引きはその種の甘えの構造が入り込む余地は1ミリもなく、バイヤーたちは良いモノなら取り引きする、市場性や競争力のない粗悪品は問題外、という立場で終始一貫しています。

何より、施設には何度も来ていますから「赤城屋」というブランド名のハム・ソーセージが、実は知的障がいのある人たちが製造している商品であることは百も承知です。





大手企業との商談や工場監査なども、水土舎には応接室などありませんから、施設内の食堂を兼ねた多目的室で、障がいのある人たちに囲まれて行われてきました。

商品や製造工場の衛生管理は徹底的に監査・監督され、通信販売の命である配送日時はネットで監視されています。一つのケアレミスが信用の失墜に繋がります。一つのケアレミスが信用の失墜に繋がります。一つのケアレミスが信用の失墜に繋がります。一つのケアレミスが信用の失墜に繋がります。

査や製造や配送システムの監査が行われ、徹底した原因究明と再発防止策が練られます。

同時期に同じ商品を他の大手企業が販売していたとしても容赦なしです。

■障がいの作る製品への

企業の姿勢■

法人設立から二十一年、大手企業のバイヤーや関係者が、障がいや福祉に言及したことは皆無です。美辞麗句を並べて、障がいのある人たちの授産商品を礼賛する風潮は国内外の各所で見受けられますが、ここには無関係です。

商品流通経済の論理と倫理が貫徹している商品取り引きには、福祉施設側が社会に対して心の隅で、時に期待してしまう甘えやおもねりは一切排除されています。

しかし、弱肉強食の市場原理が貫徹している世界であっても、厳しさの中にも無言のうちに障がい福祉への温かい眼差しと深い理解をずっと



感じてきました。

特に初期の西武百貨店との取り引きでは、商品経済と文化主義の共存と融合を目指した西武グループの故堤清二氏の精神が、バイヤーの一人ひとりに浸透していると強く感じました。

「競争力と市場性を持つ商品なら私たちは偏見なく取り引きする」という凛とした姿勢は、言葉でなく皮膚感覚で伝わってきました。

私たちは、通常約1年前から大手企業に新商品を提案します。懸念し

ていた食品表示法改正後、商品のラベルには「製造者・社会福祉法人上州水土舎」と印字することになりましたが、驚いたことに、大手企業側からは例年通りの企画提出の申し入れが続き採用が決まり、取り引きは継続されています。

私たちの無意識の負のバイアスが現状認識を曇らせていました。障がい者への偏見や障がいの作った商品への「安かろう、悪かろう」といった偏見は、プロの純粹客観評価



の前に崩れつつあることを知りまし
た。

相模原障害者施設殺傷事件への
アンチテーゼが、大手の企業人によ
り、障がい者側の甘えやおもねりの
通用しない企業活動の中で別の形で
提議されている、この企業人のマイ
ンドはそれを自然体で受け止めてく
れる多くのお客様に支持されている、
時代は変化しているのだ。我々はこ
こに企業側からの無言の共感と合理
的配慮を感じています。

■さまざま自主事業 ■

ハム班には15人ほどの利用者と
数名の職員が従事していますが、自
主事業はハム班だけではありません。
有精卵養鶏千五百羽、稲作二千㎡。
一万㎡のブルーベリー園(無農薬有
機栽培認定)から収穫されるブルー
ベリーと地元農家から分けてもらう
無花果、苺、林檎でジャム製造。そ
の他、お菓子製造、精肉、総菜、日
用品出前配送などを行っています。
多種多様の仕事があるので、利用者



の能力や適性に見合った適材適所の
職種を提供できていると思います。

平飼有精卵は当地のスーパー、道
の駅、市町村役場などで販売されて
いますが、おそらく日本一安い平飼
有精卵(1個32〜42円)ではない
でしょうか(新価格を検討中です)。

鶏のエサは、施設とグループホー
ムの生ゴミや、地元企業の残飯など
を熱処理後に発酵させて飼料化し、
それを自家配合飼料と混ぜて作りま
す。鶏糞はすべて完熟堆肥にしてブ
ルーベリー園や田畑に還元します。
従って、環境汚染物や産廃として廃



棄される鶏糞はほぼゼロです。法人
内の生ごみは3R(リデュース〓ご
みの発生を減らし、リユース〓繰り
返し使い、リサイクル〓資源を再生
利用すること)によりほぼ完全に有
効利用されており、ゼロエミッショ
ンが実現しています。

今後は、周囲の荒れた耕作放棄地
が多く散見される現状を踏まえ、独
自の三圃制(耕作・休耕・家畜放牧)
により、里山のSDGs的環境の再
生をさらに一歩進めようと考えてい
ます。地元の豊かな人的資源にも大



いに期待しています。

また、移動販売と受注宅配も行っ
てきました。買い物難民支援は、社
会的に孤立した高齢者支援を安否確
認などと組み合わせながら、一定の
社会的役割を担ってきました。今後
は利用者の特性や強みを生かし、更
にキメ細かな社会的役割を掘り起こ
していこうと考えています。

■自立にはお金が必要 ■

もちろん自立にはお金が不可欠
ですが、工賃の多寡より可処分所得
(自分の意思で使えるお金)の多寡



就労先の職場が3K+孤立化の

の方が重要だと考えます。厚生労働省は工賃倍増計画や、企業就労即幸福論を喧伝していますが、ナチの強制収容所の「働けば自由になる」のスローガン^{※2}を彷彿させます。

【※2 第二次世界大戦中、ナチス・ドイツがユダヤ人の強制収容所で用いたスローガンで、強制収容所の門のアーチに特筆大書されたことで広く知られる言葉となった。独語で「Arbeit macht frei」だが、日本語訳には「働けば自由になる」のほか「労働で自由を得る」など様々に訳される。ユダヤ人強制収容所では、実際には生き延びた者は少なく、絶滅収容所の異名の通り、ホロコーストが行われていた。】

4Kであることは少なくなく、友人・知己の不在、就労先での偏見と差別、日々感じる不全感や自信の喪失、疎遠となる福祉的支援など、社会的孤立化が現実的に生じています。

福祉分野にも優性思想の温床ともなる労働生産性神話の打破と、新たな社会思想の下に新たな労働観の創造が待たれます。

日本グループホーム学会の調査によるとグループホームでの1カ月の平均費用は九万五千円強。私たちのグループホームとの差は四万円以上あります。私たちのグループホームでは障害基礎年金2級で、工賃ゼロでも貯金ができます。

グループホームの入居者で金銭管理を当法人にまかせている約30名の方の平均年齢は39歳、平均貯蓄額は六七〇万円超です。利用者は1か月四千円の定期積立を行い、親のお金に頼らず、2年に1回、4泊の旅に出かけます。これまで台湾、韓国への海外旅行、沖縄以外の日本各地を旅してきました。



水土舎では例年 1.2 屯、約 120 万粒を収穫する

■当たり前の自立した生活■

当法人のグループホーム入居者の中には子供を持つ夫婦も入居しています。たまたま街中で出会った知的障害のある男性を就職支援したところ、彼は職場で知的障がいのある女性と意気投合し、恋愛、結婚、出産となり、その子は現在小学2年生となりました。

水土舎には県内外から居場所のない支援困難者の利用希望が少なからずあります。DVで警察に逃げ込んだ知的障害の女性を受け入れたと

きは、市の福祉課は迅速に対応してくれました。

当たり前の自立生活を地域社会の中で実現し、できるだけ他人に迷惑をかけず、障害のある人をインクルーシブな地域の共生社会に解放し、やがては施設を解体する。

今後、水土舎はそういうパースペクティブの下に、現行の支援の組み立てを考えていきたいと思っています。(了)

求人急募

右の紹介記事の内容
容に関心のある同好



の士、戦友、ぜひご連絡下さい。

全世界から参集して下さい。『余所者、バカ者、若者』論からはみ出しているアナタ、ここはそんな人のための、吹き溜まりであり、寄り合い所帯であり、職場です。博士様もいるけれど、小学校中退者もいますよ。

あなたのはみ出し性と熱意に期待します。詳しくはHPか、職安で。

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)		
事業活動による収支	収	0183 就労支援事業収入	54,211,937	53,538,883	673,054	
		0184 障害福祉サービス等事業収入	204,759,208	179,223,219	25,535,989	
		0195 その他の事業収入	715,964	0	715,964	
		0199 経常経費寄附金収入	0	722,413	△722,413	
		0200 受取利息配当金収入	2,201	1,649	552	
		0201 その他の収入	1,107,164	1,372,561	△265,397	
		事業活動収入計(1)	260,796,474	234,858,725	25,937,749	
		支	0129 人件費支出	121,879,691	117,535,106	4,344,585
		0130 事業費支出	48,693,210	51,661,105	△2,967,895	
		0131 事務費支出	9,337,888	6,736,902	2,600,986	
	0132 就労支援事業支出	59,849,675	58,432,252	1,417,423		
	0137 支払利息支出	230,698	163,210	67,488		
	0138 その他の支出	688,019	273,402	414,617		
	事業活動支出計(2)	240,679,181	234,801,977	5,877,204		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	20,117,293	56,748	20,060,545		
施設整備等による収支	収	0204 施設整備等補助金収入	1,560,000	0	1,560,000	
		施設整備等収入計(4)	1,560,000	0	1,560,000	
	支	0143 設備資金借入金元金償還支出	4,694,000	4,694,000	0	
		0144 固定資産取得支出	12,499,424	500,000	11,999,424	
	施設整備等支出計(5)	17,193,424	5,194,000	11,999,424		
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△15,633,424	△5,194,000	△10,439,424		
その他の活動による収支	収	0214 積立資産取崩収入	540	0	540	
		0222 拠点区分間繰入金収入	0	100,000,000	△100,000,000	
		0224 その他の活動による収入	24,910	0	24,910	
		その他の活動収入計(7)	25,450	100,000,000	△99,974,550	
	支	0160 拠点区分間繰入金支出	0	100,000,000	△100,000,000	
	0162 その他の活動による支出	152,448	231,580	△79,132		
	その他の活動支出計(8)	152,448	100,231,580	△100,079,132		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△126,998	△231,580	104,582		
	予備費支出(10)	0	—	0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,356,871	△5,368,832	9,725,703		
前期末支払資金残高(12)		308,666,050	308,666,050	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		313,022,921	303,297,218	9,725,703		



合鴨農法の試み。兜エビを捕食するので中止

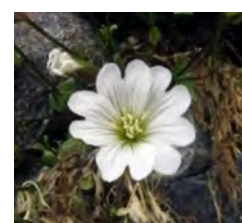


法人単位事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	53,538,883	51,840,095	1,698,788
		障害福祉サービス等事業収益	179,223,219	204,759,208	△25,535,989
		その他の事業収益	0	715,964	△715,964
		経常経費寄附金収益	722,413	0	722,413
		その他の収益	15,360	87,050	△71,690
		サービス活動収益計(1)	233,499,875	257,402,317	△23,902,442
	費用	人件費	117,535,106	122,007,229	△4,472,123
		事業費	51,661,105	46,321,368	5,339,737
		事務費	6,736,902	9,337,888	△2,600,986
		就労支援事業費用	59,927,345	60,786,049	△858,704
減価償却費		25,104,156	26,530,834	△1,426,678	
国庫補助金等特別積立金取崩額 その他の費用		△15,333,838 0	△15,767,967 87,050	434,129 △87,050	
サービス活動費用計(2)	245,630,776	249,302,451	△3,671,675		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△12,130,901	8,099,866	△20,230,767		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,649	2,201	△552
		その他のサービス活動外収益	1,357,201	1,107,164	250,037
		サービス活動外収益計(4)	1,358,850	1,109,365	249,485
	費用	支払利息	163,210	230,698	△67,488
		その他のサービス活動外費用	273,402	688,019	△414,617
		サービス活動外費用計(5)	436,612	918,717	△482,105
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	922,238	190,648	731,590		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△11,208,663	8,290,514	△19,499,177		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	1,560,000	△1,560,000
		拠点区分間繰入金収益	100,000,000	0	100,000,000
		特別収益計(8)	100,000,000	1,560,000	98,440,000
	費用	固定資産売却損・処分損	248,425	0	248,425
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,560,000	△1,560,000
		拠点区分間繰入金費用 その他の特別損失	100,000,000 0	0 1,790,000	100,000,000 △1,790,000
特別費用計(9)	100,248,425	3,350,000	96,898,425		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△248,425	△1,790,000	1,541,575		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△11,457,088	6,500,514	△17,957,602		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	406,202,179	399,701,125	6,501,054	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	394,745,091	406,201,639	△11,456,548	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	540	△540	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	394,745,091	406,202,179	△11,457,088	



法人単位貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末	
0001 流動資産	314,741,229	321,688,019	11,498,797	11,659,662	△160,865
0260 現金預金	279,237,032	238,914,935	5,815,949	4,861,545	954,404
0262 事業未収金	30,639,336	75,724,656	4,616,000	4,694,000	△78,000
1151 商品・製品	2,150,110	2,741,599	98,159	51,476	46,683
1152 仕掛品	20,724	7,456	968,689	2,052,641	△1,083,952
1153 原材料	2,390,380	3,307,252	5,277,408	9,893,408	△4,616,000
1161 立替金	3,647	132,453	4,414,000	9,030,000	△4,616,000
1162 前払金	300,000	713,318	863,408	863,408	0
1181 仮払金	0	146,350	16,776,205	21,553,070	△4,776,865
0002 固定資産	290,261,970	314,882,971	27,884,319	27,884,319	0
0003 基本財産	188,844,875	202,982,703	27,884,319	27,884,319	0
1211 土地	56,556,494	56,556,494	110,185,226	125,519,064	△15,333,838
1212 建物	132,288,381	146,426,209	110,185,226	125,519,064	△15,333,838
0004 その他の固定資産	101,417,095	111,900,268	55,412,358	55,412,358	0
1312 建物	28,557,184	35,037,997	7,500,000	7,500,000	0
1313 構築物	5,113,455	5,743,051	6,000,000	6,000,000	0
1314 機械及び装置	4,554,052	5,924,226	17,512,358	17,512,358	0
1315 車両運搬具	2,926,623	3,999,004	8,000,000	8,000,000	0
1316 器具及び備品	3,117,378	4,246,899	9,000,000	9,000,000	0
1317 建設仮勘定	151,568	151,568	900,000	900,000	0
1321 権利	166,161	187,969	1,000,000	1,000,000	0
1330 自動車リサイクル預託金	168,972	179,432	5,500,000	5,500,000	0
1325 長期貸付金	136,356	136,356	394,745,091	406,202,179	△11,457,088
1329 退職給付引当資産	1,094,988	863,408	394,745,091	406,202,179	△11,457,088
1333 出資金	18,000	18,000	△11,457,088	6,500,514	△17,957,602
0261 その他の積立資産	55,412,358	55,412,358	588,226,994	615,017,920	△26,790,926
資産の部合計	605,003,199	636,570,990	605,003,199	636,570,990	△31,567,791
負債及び純資産の部合計					
0009 基本金			27,884,319	27,884,319	0
3111 基本金			27,884,319	27,884,319	0
0010 国庫補助金等特別積立金			110,185,226	125,519,064	△15,333,838
3211 国庫補助金等特別積立金			110,185,226	125,519,064	△15,333,838
0011 その他の積立金			55,412,358	55,412,358	0
3221 車両購入積立金			7,500,000	7,500,000	0
3222 機械購入積立金			6,000,000	6,000,000	0
3223 修繕費積立金			17,512,358	17,512,358	0
3224 運営費積立金			8,000,000	8,000,000	0
3226 備品購入積立金			9,000,000	9,000,000	0
3227 人件費積立金			900,000	900,000	0
3228 建物購入積立金			1,000,000	1,000,000	0
3229 就労設備整備積立金			5,500,000	5,500,000	0
0012 次期繰越活動増減差額			394,745,091	406,202,179	△11,457,088
3311 次期繰越活動増減差額			394,745,091	406,202,179	△11,457,088
3312 (うち当期活動増減差額)			△11,457,088	6,500,514	△17,957,602
純資産の部合計			588,226,994	615,017,920	△26,790,926
負債及び純資産の部合計			605,003,199	636,570,990	△31,567,791

脚注

1. 減価償却費の累計額 377,056,496円



社会福祉事業 事業活動内訳表

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		水士舎拠点区分	ムゲン・もんじゅ拠点区分	よろず屋春拠点区分	こすもす拠点区分	亀泉拠点区分	合計	内部取引消去	事業区分合計		
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	46,420,343	0	7,118,540	0	0	53,538,883	0	53,538,883	
	益	障害福祉サービス等事業収益	38,056,903	42,902,040	32,981,276	56,283,647	8,999,353	179,223,219	0	179,223,219	
		経常経費寄附金収益	672,413	0	30,000	0	20,000	722,413	0	722,413	
		その他の収益	15,360	0	0	0	0	15,360	0	15,360	
		サービス活動収益計(1)	85,165,019	42,902,040	40,129,816	56,283,647	9,019,353	233,499,875	0	233,499,875	
	費	人件費	46,803,431	16,241,309	19,289,592	30,236,338	4,964,436	117,535,106	0	117,535,106	
		事業費	16,152,423	1,804,732	7,385,017	25,033,356	1,285,577	51,661,105	0	51,661,105	
		事務費	5,421,052	67,460	1,017,414	226,476	4,500	6,736,902	0	6,736,902	
		就労支援事業費用	49,362,340	0	10,565,005	0	0	59,927,345	0	59,927,345	
		減価償却費	8,299,842	4,543,720	768,187	9,529,043	1,963,364	25,104,156	0	25,104,156	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△5,107,641	△2,648,276	△303,657	△5,988,017	△1,286,247	△15,333,838	0	△15,333,838		
	サービス活動費用計(2)	120,931,447	20,008,945	38,721,558	59,037,196	6,931,630	245,630,776	0	245,630,776		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△35,766,428	22,893,095	1,408,258	△2,753,549	2,087,723	△12,130,901	0	△12,130,901		
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	1,231	107	130	74	107	1,649	0	1,649	
	益	その他のサービス活動外収益	892,619	231,912	108,940	123,730	0	1,357,201	0	1,357,201	
		サービス活動外収益計(4)	893,850	232,019	109,070	123,804	107	1,358,850	0	1,358,850	
	費	支払利息	0	80,550	0	82,660	0	163,210	0	163,210	
		その他のサービス活動外費用	175,150	73,312	24,940	0	0	273,402	0	273,402	
		サービス活動外費用計(5)	175,150	153,862	24,940	82,660	0	436,612	0	436,612	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	718,700	78,157	84,130	41,144	107	922,238	0	922,238	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△35,047,728	22,971,252	1,492,388	△2,712,405	2,087,830	△11,208,663	0	△11,208,663	
	特別増減の部	収	拠点区分間繰入金収益	100,000,000	0	0	0	0	100,000,000	0	100,000,000
		益	特別収益計(8)	100,000,000	0	0	0	0	100,000,000	0	100,000,000
費用		固定資産売却損・処分損	248,425	0	0	0	0	248,425	0	248,425	
		拠点区分間繰入金費用	0	100,000,000	0	0	0	100,000,000	0	100,000,000	
		特別費用計(9)	248,425	100,000,000	0	0	0	100,248,425	0	100,248,425	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	99,751,575	△100,000,000	0	0	0	△248,425	0	△248,425	
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	64,703,847	△77,028,748	1,492,388	△2,712,405	2,087,830	△11,457,088	0	△11,457,088	
繰越活動増減差額の部			前期繰越活動増減差額(12)	31,622,592	106,536,637	25,534,996	204,953,406	37,554,548	406,202,179	0	406,202,179
			当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	96,326,439	29,507,889	27,027,384	202,241,001	39,642,378	394,745,091	0	394,745,091
			基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	96,326,439	29,507,889	27,027,384	202,241,001	39,642,378	394,745,091	0	394,745,091	

■ 新刊紹介 ■

安井孝之著 青春出版

古来、移動せずにはおれないホモ・モブリスたる人間が、便利な大衆車を手に入れてからたまさか百年。この間、当たり前のように使われている化石燃料が、気候変動や、地球規模での環境の悪化や破壊の原因となつていくという認識は遍く人口に膾炙してきました。

昨今、脱化石燃料・再エネ・グリーン化社会の近未来論が盛んとなりまして、前朝日新聞論説・編集委員の著者は、この問題をガソリン車の消滅にフォーカスして深く掘り下げています。著者は自動車の二つの原罪、環境負荷と交通事故を、この一連のグリーンエ



脱炭素化社会実現の

ため各国政府や各メーカーの相反する思惑や利害が交差し、相互に牽制し合い、しを削り、切磋琢磨し、時に協力し合いさえもする舞台裏を、優れたジャーナリストが常にそうであるように、ていねいに自分の目と耳と足で渉猟し、まるでミステリー仕立ての物語のように生々しく活写しています。冒頭の記述、トヨタ社長の乗ったミニカーが隠密裏に経産省地下駐車場に乗り入れる、この事件性の予感が読者を虜にして離さない。実業家、政治家、研究者、官僚等々の人間ドラマとしても面白い本です。

また、脱成長論にも一石を投じる極めて時宜にかなった著書であると思いましたが、(ボラ編子・緑と水の地球)

『私たちが命を守るためにしたこと』

2019年台風19号、障害者施設“けやきの郷”の記録

(ジーアス教育新社)

相模原事件(2015年)にさかのぼること三十余年前、数年にわたる大きな施設コンフリクトがあり、住民の不同意により施設候補地(実に十ヶ所以上)が次々と潰された事件があった。多くの賛同者が計画を後押ししたのだが、相模原事件に徹底する一部住民の排他主義的感情に押され、皆の願いと夢の実現が次々と文字通



1971年6月17日第三種郵便物認可(毎月六回50日・00日発行) SSK 無何有郷通信 2021年7月16日発行 SSK増刊通巻第5587号

り潰されたのだ。そこには『自閉症者を「犬」になぞらえ、療育施設を「公害施設」にみたて、追立てること』『「けやきの郷十年の努力」から』で安心立命を図った住民がいた。

しかし、今から36年前(1985年)茅誠司元東大総長を理事長に迎え、自閉症支援施設(入所更生施設)初雁の家が川越に完成した。この法人以降の目覚ましい発展と国内外における先進的な活躍は詳述をまたない。

ところが、東日本を襲った令和元年の台風19号で、全16施設のうち15施設が被災してしまう。この書は

台風の被害の全貌

と途上にある復旧・復興の全記録である。また、利用者さんの心の襞にまで分け入った叫びも折々に採録してある。随所に現場で実際に被災した利用者さんと

職員と関係者の活動と思いが詰め込まれており、記述は具体的である。

本書は単なる記録ではない、未来に目を向け、関係諸団体と『これからどうあるべきかを共有する』ことを目指している。そして、阿部(前)理事長が掲げている最大のキーワードが『地域』と『仲間』である。

あれほど痛めつけられたのに、と下衆は勘ぐってしまうが、苛烈な施設コンフリクトを乗り越えてたどり着いた希望と祈りの言葉だ。感慨も一入である。襟を正して真摯に謹聴しなければならぬ。実体験者の生の声でつづられた稀有な記録の書であり、歴史の証言集でもある。



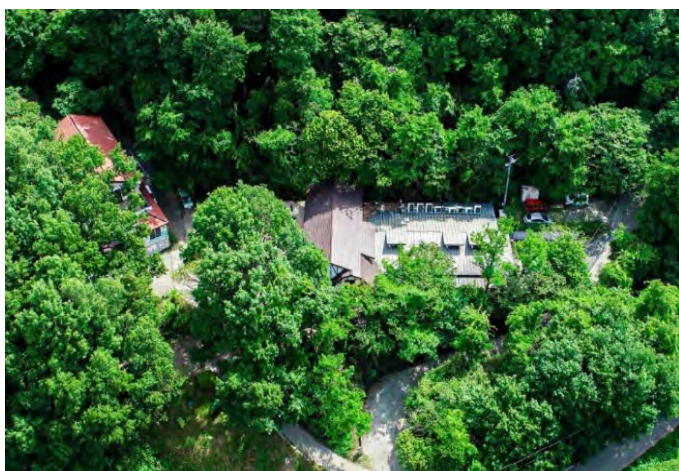
SSS 水土舎ホームページの
リニューアルのお知らせ SSS

上州水土舎のHPを刷新しました。新しいURLは左記のとおりです。

<https://suidosha.jp/>

ブックマーク登録されている方はお手数ですがURLの変更をお願いいたします。なお、以前のURLから

も新しいホームページに移れます。宜しくお願い申し上げます。



緑に埋もれた水土舎、ドローンから

編集…知的障害者授産施設水土舎
編集人…代表 金谷透
印刷…水土舎印刷室(無断転載禁止)
発行…特定非営利活動法人障害者
団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三のの一十七
の一〇二
一部百円、年間購読料四百円(送料込)